

平成27・28年度 矢掛町地方創生関連交付金事業



平成28年12月13日

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金
(矢掛町 平成27年度事業)

矢掛町お得な商品券発行事業

目的

矢掛町内における消費喚起と経済の活性化

●消費喚起プレミアム付き商品券発行事業

事前に登録されたすべて店舗で利用できる2割の割増しを加えた商品券と、大規模小売店舗を除いた店舗で利用できる3割の割増しを加えた商品券の2つの種類をそれぞれ発行した。あわせて7,000冊の商品券を平成27年7月に農村環境改善センターで販売し、完売した。以下の2事業とあわせて、矢掛町お得な商品券の発行総額は約1億190万円。

●矢掛町子育て応援助成事業

矢掛町内において中学生以下の児童を養育する子育て世帯に対し、児童1人あたり5,000円を矢掛町お得な商品券により交付した。

●矢掛町生活応援助成事業

矢掛町内において世帯全員の町民税が非課税となっている低所得者世帯に対し、1世帯あたり5,000円を矢掛町お得な商品券により交付した。



写真：矢掛町お得な商品券（2割増）



写真：矢掛町お得な商品券（3割増）

●結婚相談所委託運営事業

結婚を希望する人を総合的に支援することを目的に実施したもの。相談所登録者の相談を受けるとともに、登録者のマッチングを行う。登録の促進や、マッチングのアドバイス、お見合いに同席しサポートを行う縁結び応援隊がおり、登録者のサポートを行った。

●夕暮れトキメキ社会人サークル

異性との出会いの場は欲しいが、「婚活」には抵抗があるという人を対象にしたもの。フットサル、バドミントン、料理、筆ペンの4つのサークル活動を行い、男女の交流を図った。

●婚活イベント（3回）

独身の男女に出会いの機会を提供したもの。

11月1日 禅ZEN IN 洞松寺

11月29日 大人のアウトドアクッキング

2月28日 倉敷美観地区散策



写真：募集用チラシ



写真：サークルの様子

●誕生祝い金の支給

子育て家庭への経済的支援及び出生数増が目的。

第1子・第2子は5万円，第3子以降は10万円を支給。
支給にあたっては、出生後4ヵ月までに、保健師が各家庭を訪問し、母親や家族と面談をしながら状況を把握したうえで、町からの祝い金を手渡しで支給している。

■26年度生73人 →27年度生78人 →28年度生90人予定
(28年度は、町単独事業で、祝い金を倍増している。)



写真：第3子訪問 祝い金支給

●地域の愛育委員による赤ちゃん訪問

上記とは別に、地域の愛育委員（地域の子育て支援役）が、上記家庭を訪問し地域に馴染めるよう支援している。

その際、「誕生祝いセット」（赤ちゃん用体温計・乳児用歯ブラシ・おしりふき・産後うつ予防リーフレット等）を配布。育児の様子や困り感等を聴き、行政へつなぐことで、切れ目のない支援を図る。



写真：誕生祝いセット

概要

矢掛町を訪れた観光客の満足度の向上による交流人口の増加を目的に、各種イベントの企画、立案、運営等の業務を株式会社やかげ宿へ委託し、賑わい創出のためのイベントを実施した。

実施イベント

やかげ町家交流館を会場に、毎週末にコンサート等のイベントや、毎月第2・第4日曜日に朝市を開催した。
また、町並みを活用し、町並み全体が舞台となるイベントとして、「ベッキオバンビーノ」や「やかげ夏の行灯まつり」を実施し、賑わい創出を図った。



写真：コンサート



写真：チラシ



写真：ベッキオバンビーノ

概要

矢掛町の魅力を広く情報発信し、観光客に観光情報の提供を行うため、株式会社山陽放送サービスに委託し、観光PR広報事業を実施した。

リクルートと連携し「じゃらん」への掲載及び町総合観光パンフレットを製作し情報発信を行った。

平成28年4～6月に開催された観光キャンペーンに合わせて「旅の手帖」への広告掲載を行いPRの相乗効果を図った。

実施内容

RSKラジオによるPR、RSKイブニング5時への出演、ラジオカーによる中継等により、矢掛町にある観光資源やイベントを年間を通してPRした。



写真：RSKラジオ番組



写真：旅の手帖

概要

効果的に観光情報の発信し、新たな観光客の獲得を行うため、岡山県観光連盟から推薦のあった株式会社トラベルジップに委託し、既存のホームページにある観光情報を刷新し、新たに公式観光サイト「やかげ観光ネット」を開設した。



写真：やかげ観光ネット①



写真：やかげ観光ネット②

「やかげ観光ネット」の特徴

- ✓ 大きな写真を使用し、行ってみたいと感じる情報を多く掲載
- ✓ 飲食店や土産物店の情報を多く掲載
- ✓ 魅力をわかりやすくまとめた記事を掲載
- ✓ 矢掛で活躍する人にスポットを当てた記事を掲載 等

デジタルサイネージシステム作成事業

目的

観光客の回遊性の向上

概要

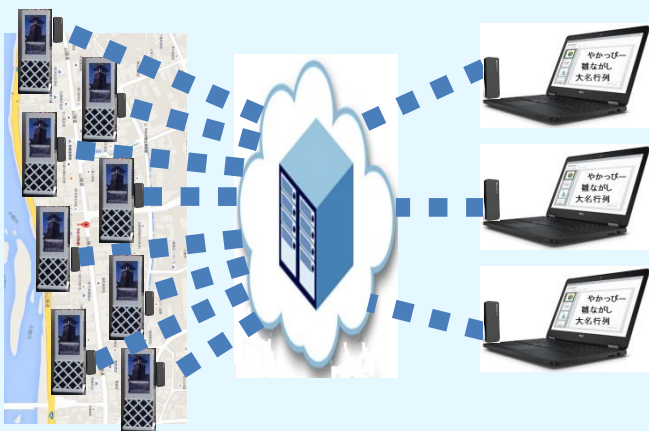
矢掛を訪れた観光客への現地での様々な最新情報の提供や回遊性の向上を図るため、商店街や集客性のある公共施設にデジタルサイネージを設置した。

設置場所

商店街5箇所、総合運動公園、やかげ郷土美術館、役場



写真：デジタルサイネージ



写真：配信イメージ

デジタルサイネージの特徴

- ✓ タッチパネルによる双方向性
- ✓ データ通信による遠隔での情報配信
- ✓ 複数コンテンツの配信による各種情報の提供
- ✓ 静止画・動画の配信 等

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業 重要業績評価指標（KPI）実績

事業名	指標	目標値	H27実績値
観光イベント開催事業	観光イベント参加者数	5,000人	3,353人
観光HP制作事業	観光HPアクセス件数	70,000件	57,289件
結婚推進事業	婚活イベントにおけるカップル成立数	10組	12組
誕生祝い金事業	町内出生増加数	5人増加	5人増加
観光CM作成事業	年間観光宿泊客数	5,000人	5438人
デジタルサイネージシステム作成事業			

地方創生加速化交付金
(矢掛町 平成28年度事業)

概要

地域課題や社会的課題の解決に向けた町民、行政双方向の協働の取り組みを進めることを目的として、本町が指定したテーマの中から事業提案を募集した。募集テーマは「中山間地域の活性化」など6テーマとした。町内の町民活動団体6団体から応募があり、矢掛町協働事業審査委員会の審査を経て、2団体の事業を採択した。現在、協働事業を実施しており、事業実績にあわせて、矢掛町提案型協働のまちづくり応援制度補助金を交付する。

採択団体及び事業

●やかげ小中高こども連合

事業：パプアニューギニア高校生との交流など5事業

●フルーツフェスティバル2016実行委員会

事業：フルーツフェスティバル2016

(平成28年9月24日開催)



写真：審査委員会による審査



写真：採択事業チラシ

概要

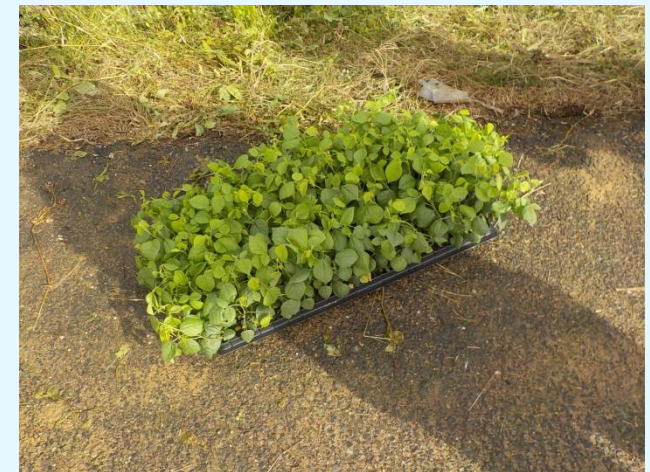
薬用作物の生産・消費構造の把握、企業の需要、自然環境等の薬用作物を取り巻く現状を踏まえたうえで、本町における栽培品種等の模索及び試験栽培の実施を行う。同時に企業からのヒアリング等を通じ、提携栽培の可能性について調査するとともに、他地域の普及事例、商品開発の有効事例等を調査し、本町での取り組みの基礎資料とする。

企業・大学の協力

三菱樹脂(株)及び(株)グリーンイノベーションから種苗の提供を受け、農業生産組合水車の里農園の協力のもと、平成28年10月から甘草(約1,200株)の試験栽培を実施。また、岡山大学薬学部からカラスビシャクほか3品種について種苗の提供を受け、同じく試験栽培を実施している。企業・大学による成分の確認や地域での普及のためのアドバイスを受けながら実施。



写真：試験栽培の実施



写真：種苗の提供

概要

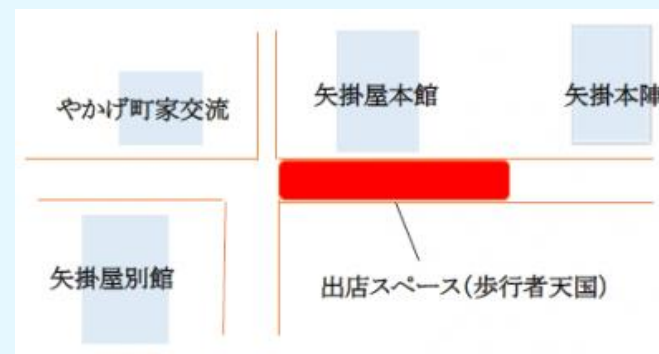
後継者不足等により、商店街には空き店舗が増加し、賑わいが失われつつある。この課題を解決するため、地元町民を中心に「宿場町矢掛の日曜朝市」を開催し、観光客や買い物客を誘致することで商店街の活性化を図る。事業内容は宿場町矢掛の日曜朝市実行委員会で検討。出店者は広く募集し、特に町内7地区からの出店を促している。開催は毎月第2日曜日で、商店街の一部区間を歩行者天国として実施。物販を通じて、矢掛の魅力を発信している。

出店内容

焼き鳥、ジュース、コーヒー、手作り雑貨、果物、野菜、ジェラート、かき氷など多くの出店がある。地域おこし協力隊員による地元食材を使った「卵かけごはん」や「おこわ」などの特徴的な商品も販売され始めた。



写真：日曜朝市の様子



写真：出店エリア

概要

町内の空き家を利用して新規創業する事業者に補助金を交付することで、町内産業の振興、雇用の促進及び定住・交流の促進に寄与する。

(1) 設備資金補助 補助率2/3以内 上限300万円

空き家改修・購入費、設備備品購入補助

(2) 経営支援補助 補助率1/2以内 上限100万円

広告販売促進

(3) 賃借料補助 1年目：補助率2/3以内 上限80万円

2年目：補助率1/2以内 上限60万円

実績

当該補助金を利用して5件が創業。2件が創業に向けて店舗改修中。

創業開始（予定）業種：カフェ、鍼灸院、小売、カット、スポイラー等自動車部品製造販売



写真：新規創業店舗①



写真：新規創業店舗②

観光まちづくり推進支援事業

目的

観光客への「おもてなし」向上
による賑わい創出

概要

民間団体等による観光振興に資する事業を支援し、充実させることで、観光客への「おもてなし」の向上による賑わい創出を図る。

誘客を目的としたイベント事業や、外国人観光客の誘致促進に資する事業など、4つのテーマで事業を募集し、5件の応募があった。事業実績にあわせて「矢掛町観光まちづくり推進支援事業補助金」を交付する。

主要な事業

・ Yakage Art Project

事業：「ザ・のみぎりズム2016」

（観光客誘客を目的としたイベント等）

・ 株式会社矢掛屋

事業：パンフレット・ホームページの英語化

（外国人観光客誘致の促進）



写真：事業募集チラシ



写真：ザ・のみぎりズム2016

概要

「観光元年」と称した平成27年度に矢掛の町並を案内する観光ガイドの育成を行った。全5回の講座を行い、検定を実施し平成27年度末までに9名のガイドを認定した。平成28年4月から7名で活動を開始し、平成28年4月～6月まで岡山県とJRグループが行った「晴れの国デスティネーションキャンペーン」では多くのお客様を案内し、好評を得ている。



写真：ガイド風景

成果

平成28年10月末まで

- ・ 70団体、約1,700名をガイド
- ・ 平成28年7月に組織化
- ・ 平成28年度も追加でガイド養成を行い
本年度新たに8名を認定し、全15名で活動中



写真：平成28年度養成講座風景

概要

観光客周遊を促す為の事業。

宿場町矢掛ならではの観光客目印（例；通行手形）を作成し、その目印を観光客は購入又は一定の条件で配布を受ける。商店街通りを中心に協力店を募り、目印を持っているお客様のみ受けれる特典（ドリンクサービス・買物料金割引等）を受けることができ、散策・周遊を促進する。

期待できる効果

- ・ 観光客は特典を受けれることで複数店舗を周遊
- ・ 商店は観光客を取り込む呼び水として活用できる
- ・ 目印はお客様が持ち帰れる「矢掛のお土産」となる
- ・ 目印のデザインを変更し、利用可能期間を制限（例；1年間）することで期間中のリピーターの確保につながる事が期待できる



写真：町並風景①



写真：町並風景②

● 新たな特産品の開発

品質・味・デザイン等に優れ、町内外の消費者に対する高い訴求性を持つ「矢掛らしい」商品の提案を募集し、新たな矢掛町の顔となる特産品の発掘及び創造並びに産業振興への寄与を目的とする。

募集対象

- (1) 食品部門 (2) 食品部門以外

● 今後の方向

矢掛町ブランド認定委員会委員に商品化の支援を受けるためのアドバイザーを加えて、アイデアだけのものと商品開発までしたものを分けて審査を行う。補助金交付対象となりうると判断され、商品開発までしたものは、交付申請をしてもらい実費部分を30万円を限度に補助する。

アイデアだけのもので、商品化が認められたものは、開発事業者を募る。



写真：募集用チラシ

概要

「空家等対策の推進に関する特別措置法」の施行に伴い、市町村に空家等への対策が求められるようになったことを背景に、本町における空家等の活用及び除却に係る今後の施策を検討するうえで必要な基礎情報の把握を行うもの。

○矢掛町空家等実態調査業務委託（第1次調査）

委託期間：平成28年3月31日～平成28年9月30日

	判定区分A	判定区分B	判定区分C	調査不可	計
矢掛	101	49	34	0	184
美川	58	29	14	5	106
三谷	58	19	10	2	89
山田	46	19	26	1	92
川面	49	32	10	7	98
中川	37	17	25	0	79
小田	60	33	17	1	111
計	409	198	136	16	759

※利活用可能物件を対象に第2次調査（所有者への意向調査等）実施



写真：例 利活用可能物件



写真：例 利活用不可
（除却候補）物件

無電柱化構想検討事業

目的

無電柱化における低コスト手法の技術的検討

目的

全国で実施されている無電柱化における低コスト手法の情報を有効活用し、低コスト手法について技術的検討を行い、問題点及び対応策を整理し、町道市街地中央線において低コストで無電柱化事業が実施できるかどうかの検討を行う。

ワーキンググループ参加団体

○ワーキンググループ

中国電力株式会社 お客様サービス本部
中国電力株式会社 倉敷営業所
株式会社 NTTフィールドテクノ
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社
株式会社 エネルギア・コミュニケーションズ
JA倉敷かさや
備中西商工会 本部
株式会社 矢掛放送
矢掛町

○アドバイザー

国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所
岡山県



写真：町道市街地中央線



写真：路線両側のハンプ及び排水側溝

